

原市場聖書教会

週 報

NO. 1062

年間聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

ヨハネの福音書 15章5節



2025. 8. 10

主日礼拝

2025年 8月 10日

礼拝奉仕者

説教：清水浩治師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多節子姉
受付：若村めぐみ姉

ワーシップ賛美	「主は良いお方」	—	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「主のいやし受け取ろう」	—	同
使徒信条		—	同
主の祈り		—	同
賛美	聖歌229番「おどろくばかりの」	—	同
献金		—	同
感謝の祈り		本多節子姉	
聖書朗読	第二コリント5章1節～8節	司会者	
説教	「こころのふるさと」	清水浩治師	
黙祷		奏楽者	
賛美	聖歌480番「輝く日を仰ぐとき」	—	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝福		清水浩治師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●礼拝後自家焙煎コーヒータイムがあります。



「こころのふるさと」

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

第二コリント5章1節～8節

- 1, たとえ私たちの地上の住まいである幕屋が壊れても、私たちに天に、神が下さる建物、人の手によらない永遠の住まいがあることを、私たちは知っています。
- 2, 私たちはこの幕屋にあってうめき、天から与えられる住まいを着たいと切望しています。
- 3, その幕屋を脱いだとしても、私たちは裸の状態にいることはありません。
- 4, 確かにこの幕屋のうちにいる間、私たちは重荷を負ってうめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいからではありません。死ぬはずのものが、いのちによって み込まれるために、天からの住まいを上に着たいからです。
- 5, そうなるのにふさわしく私たちを整えてくださったのは、神です。神はその保証として御霊を下さいました。
- 6, ですから、私たちはいつも心強いのです。ただし、肉体を住まいとしている間は、私たちは主から離れているということも知っています。
- 7, 私たちは見えるものによらず、信仰によって歩んでいます。
- 8, 私たちは心強いのですが、むしろ肉体を離れて、主のみもとに住むほうがよいと思っています。

今月のワーシップ賛美

主のいやし受け取ろう

作詞/作曲 長沢 崇史

主 は わ た し を い や す お か た み つ

ば さ の か げ で お お い な が さ れ た 血 し お そ の

打 ち き ず で す べ て の い た み 消 え 去 る 主 の 血

し お に い の ち が あ る 主 の 血 し お に い

や し が あ る い ま み ま え に す べ て ゆ だ ね て 主 の

い や し 受 け 取 ろ う

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあがめさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいだしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

御言葉紹介

★ 2025 年 8 月 6 日御言葉

ペテロの手紙 第二 3 章 9 節

主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より引用。

●この言葉は、イエス・キリストの弟子ペテロが、当時のクリスチャンたちを励ますために書いた手紙の一部です。

イエス・キリストは、人間の罪のために十字架にかかって死なれ、旧約聖書の約束通りに復活し、天に帰られました。そして聖書には、キリストがもう一度来られる「再臨」の約束も書かれています。

初代教会の人々は、この再臨を心から待ち望んでいましたが、なかなかその時が来ないことで不安になり、「本当に再臨なんてあるのだろうか」と疑う人たちが現れてきました。その影響で、信仰を見失いそうになる人も増えてきたのです。

そのような中で、ペテロはこの手紙を通して、「主は約束を忘れているわけでも、遅らせているわけでもない」と伝えています。むしろ、神様は私たち一人ひとりが悔い改め、滅びることなく救われることを願って、忍耐して待っていてくださっているのです。

私たちは、自分の力でうまくやれていると感じると、神様を求める心が薄れてしまいがちです。けれども神様は、「だからこそ、いつ再臨が来てもよいように、日々悔い改めて、神との良い関係を保っていなさい」と語っておられるのです。

地震もいつ来るかはわかりません……。生きていれば私たちの想定外のことは突如としてやってきます。心の内側までもが全てオープンにさせられる時は必ず来ます。その時に、あわてることなく、神様の前に出ていける備えを日々用意をしておけるものでありたいです。

では猛暑が続きますが心も体も、守られるようお祈りしています。

原市場聖書教会

若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

●夏期特別献金の封筒を準備いたしました。夏まで守られた感謝のしるしとしてお献げ下されば感謝です。また続けて教会会計の必要が満たされるようお祈りください。

●本日の礼拝は、清水浩治師が取り次いでくださいました。
若村和仁師は松原湖聖会にて奉仕中です。最後まで奉仕が守られるようお祈りください。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

・8月7日（木）～8月11日（月） 松原湖聖会奉仕 （場所：松原湖）

本日午後の予定

★礼拝後コーヒータイムがあります。ご自由にお交わり下さい。

次週主日礼拝（8月17日）

司 会：本多崇兄

聖 書：コロサイ人への手紙1章21節～29節

説 教：「キリストの苦しみから始まる祝福」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：ワーシップ賛美「恵み Again」「主のいやし受け取ろう」

聖歌296、聖歌392、聖歌383

受 付：本多祐子姉 献金感謝祈祷：大谷明兄

先週の各集会出席者数

			子供	男性	女性	合計
8月3日（日）	教会学校ハレルヤキッズ		6人			
	礼 拝		6+0人	8+1人	11+3人	29(25+4)人
			（※各集会「対面+オンライン」表記となります。）			
	夕 礼 拝			0人	0人	0人
8月6日（水）	祈 り 会		0人	1人	3人	4人

集会案内

8月13日（水）	祈 り 会	10:30～12:00
8月17日（日）	ハレルヤキッズ	9:30～10:10
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

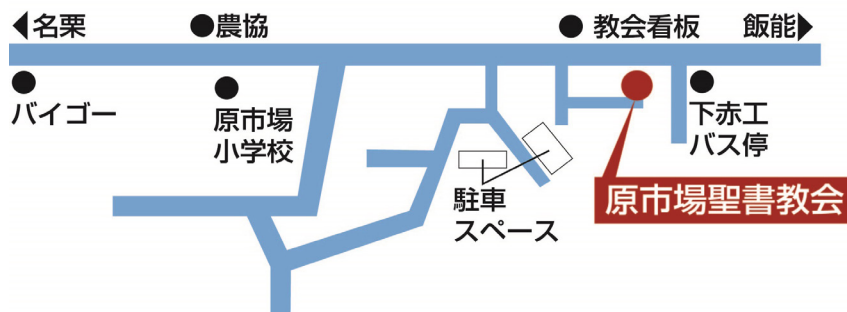
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ち ち・み こ・み た ま の お お み か み に - と こ し え か

わ ら ず み さ か え あ れ - み さ か え あ れ - アーメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

❖ 集会案内 ❖

主 日 礼 拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈 り 会	水曜	10:30-12:00
赤毛のアソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッス スペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧 師: 若村和仁